



色彩感性と衣服選択の関連

メタデータ	言語: jpn 出版者: 宮崎大学教育文化学部 公開日: 2008-03-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岡村, 好美 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10458/1315

色彩感性と衣服選択の関連

岡村好美

Relation between Color Cognition and Clothing Choice

Yoshimi OKAMURA

1. 緒言

近年の我が国では快適さ・便利さを目指した物が次々と登場し、生活様式は様々に変化してきた。この風潮は家族形態・ライフスタイルにも影響し、衣服形態は、ブランド・ファッション、エレガンス・ファッション、キャリア・ファッション等次々に新しいファッションが提供され、消費者の衣服選択範囲が広がるとともに衣生活行動は大きく変化してきた。衣類を中心としたファッション意識についての研究も進み、年齢や性別による衣の基本行動への影響¹⁾、購買行動に影響する要因²⁾、衣服評価と個人の感性との関係³⁾、服装の表示機能に関する分析⁴⁾などこれまでにも多方面にわたって試みられてきた。また、高齢者人口の増加という今までにない状況下にあって衣服におけるユニバーサルファッションについても注目されており、身体的特徴に基づいたデザイン的要素や、通常とは異なった色の着用による心理的影響についての報告⁵⁾等もなされている。しかし最近母親-娘世代間における着衣の類似性⁶⁾が注目されているように、年齢や性別・生活様式等によって一概に理解できることばかりではなく、個人の潜在的な意識についての調査も必要ではないだろうか。近年の母親-娘世代間における類似の現象には少子化が進んで親子の関係に友達に似た意識が芽生えた結果とも考えられるが、類似≠同一である以上、消費者としての意識についての共通点・相違点を論じ、着装についての意識など広範囲にわたった探求の必要性が感じられる。

本報では異世代についての被服選択における影響因子を探ることを目的とし、母親-娘の2世代を対象に調査・検討した。衣服の選択は先ず視覚的判断によって行動が始まるところから、視覚判断への影響が大きいと考えられる色彩に注目して色彩感性と被服選択要因との関係を検討した。色彩感性は無作為に抽出した絵画による感性評価から情報を得、この結果と着衣の色彩および衣服選択における意識調査結果との関係から、衣服選択への色彩感性の影響について検討した。その結果、ある知見が得られたので報告する。

2. 調査方法と検討方法

絵画の色彩感性評価と被服選択要因についての調査は2000年6月から2001年4月に実施した。対象者は、宮崎県在住の20代女子学生75名と一世代上の40-50代女性70名である。いずれの調査も記入期間を7~10日とした留置調査法で行った。

色彩感性評価は、絵画13点について7段階の評価とした。用いた絵画サンプルを表1に、評価項目を表2に示す。評価項目は、好みしさを調べるという見地から心地よさに通じる形容詞対を用いた。調査得点を年代別に集計して平均値を求めた後、t検定の結果とt検定で差があると認められた項目について行った因子分析および、因子得点を用いて行ったクラスター分析の結果から、色についての感覚特性を解析した。

衣服選択の要因調査は5段階評価で行った。調査項目を表3に示す。分析は、回収した調査用紙を年代別に集計して平均値を求めた後、t検定を行って世代毎の特徴を調べた。また有意差が認められた項目を対象に因子分析を行って、衣服選択に関する意識を調べた。

表1 絵画サンプル

作品名	作者
アヴィニョンの娘たち	パブロ・ピカソ
ある1日の謎	ジョルジュ・デ・キリコ
ヴァイオリンとパレット	ジョルジュ・ブラック
春日苑	郷倉千鶴
ギターを持つ女	有岡一郎
形態のダイナミズム	ジーノ・セヴェリーニ
不明	ケンドーン
樹蒼	大島秀信
初夏	児島善三郎
晩秋	齊藤清策
祭りの朝	野上祇磨
窓	高長久俊
楽園	郷倉和子

3-1 絵画における色彩感覚評価

表2の各項目について左から1点-7点の7段階の点数を与えて得点化し、項目別、絵画別に平均値を求めた。結果を表4に示す。20代女性が40-50代女性に比べて比較的低い値を示した項目は「1. 上品な」、「8. 洋風的な」、「15. しゃれた」、「19. ユニークな」、「26. 個性的な」、「29. 知的な」、「31. 清潔な」であり、40-50代女性では「4. 無難な」、「11. 派手な」、「20. 口

表2 感性評価項目

形容詞対	
1. 上品な	- 下品な
2. 落ち着きのある	- 落ち着きのない
3. シンプルな	- 変化のある
4. 無難な	- 奇抜な
5. 豪華な	- 質素な
6. 安らぎのある	- 安らぎのない
7. 明るい	- 暗い
8. 洋風的な	- 和風的な
9. 近代的な	- 古風な
10. 都会的な	- 田園的な
11. 派手な	- 地味な
12. 暖かい	- 涼しい
13. 男性的な	- 女性的な
14. 飽きの来ない	- 飽きやすい
15. しゃれた	- 野暮な
16. 若々しい	- 年期の入った
17. さわやかな	- さわやかでない
18. センスのある	- センスのない
19. ユニークな	- ありふれた
20. ロマンチックな	- ロマンチックでない
21. 可愛らしい	- 可愛らしくない
22. 重みのある	- 重みのない
23. ソフトな	- ハードな
24. 楽しくなるような	- 悲しくなるような
25. 新鮮な	- 新鮮でない
26. 個性的な	- 個性的でない
27. ゆったりとした	- ごたごたした
28. 活動的な	- 非活動的な
29. 知的な	- 知的でない
30. 開放的な	- 閉鎖的な
31. 清潔な	- 清潔でない
32. 格調高い	- 格調低い
33. カラフルな	- カラフルでない

着衣の色彩調査は2001年11月に、20代女子学生66名を対象として行った。回答は好みの色・着衣の色とも自由記述・複数回答可とした。得られた色名の出現率を求め、20代女性の色彩感性および、被服の選択要因との関連を考察した。

3. 調査結果および考察

マンチックな」、「21. 可愛らしい」、「28. 活動的な」となり、20代女性はさわやかな緊張感を、40-50代女性は空想的な意識を持っていることがうかがわれた。またt検定の結果に有意差が認められた項目中で、平均値が中間値を基準に高低に分かれたのは11項目（項目番号8, 9, 10, 18, 20, 23, 26, 27, 29, 31, 33）あり、絵画に関係なく同じ別れ方をしたのは「都会的な」と「清潔な」で、40-50代女性の場合には都会性を、20代女性の場合には清潔感を強く意識している様子がうかがえた。またt検定で有意差が認められ、平均値が高低に分かれた絵画は、9絵画（アヴィニヨンの娘たち、ある1日の謎、春日苑、ギターを持つ女、樹蒼、初夏、晩秋、祭りの朝、楽園）であった。絵画の印象色を表5に示す。前記9絵画について、差が認められた項目に対応すると思われる色について表5を基準に判断すると、20代女性は青や白（アヴィニヨンの娘たち、樹蒼、祭りの朝）から清潔感を、40-50代女性は赤（楽園、晩秋、初夏）から都会的という印象を受けていると思われる。また赤を40-50代女性は洋風とも感じており（春日苑、晩秋）、赤には良い印象を持っているようであった。これに対して20代女性は赤を個性的（春日苑、晩秋）、知的でない（晩秋、楽園）と思っており、知的なイメージは白から受けているようであった。これは印象色に白が入っている他の絵画においても認められた。また茶には両年代とも「上品な」、「しゃれた」、「センスのある」、「格調高い」感情を持っている傾向が見られ、この意識は20代女性でやや強いようであった。

t検定で有意差が認められた23項目について因子分析した結果を表6に示す。形態のダイナミズム・不明（ケンドーン）・楽園、ヴァイオリンとパレット・ある1日の謎・樹蒼、初夏・晩秋の各グループにはそれぞれ共通要素が認められた。表6の因子得点を用いてクラスター分析を行った結果を表7に示す。世代毎の分類結果は「春日苑」と「祭りの朝」以外は同じであった。各クラスターの共通因子を絵画の印象色（表5）から判断すると、第1クラスターに分類された共通絵画からは黄と赤が特徴色として認められ、第2クラスターの共通絵画からは無彩色と寒色・中間色が特徴色として認められた。特に20代女性は無彩色・寒色に対する注目度が強く、赤に対する注目度は40-50代女性より低いことがうかがわれたが、これは前

表3 被服選択における質問項目

項目	
流行	1. 流行が気になる 6. 新しいファッショնは早く着てみたい 13. 飽きの来ない長く着られる服を選ぶ 17. ヒトと違うファッショնをしてみたい 27. 流行の色やデザインの服を着たいと思う 30. ファッショն雑誌をよく参考にする
素材・管理	4. 冬服は保温性を考えて選ぶ 8. 衣服の管理・出し入れは自分で行う 12. 洗濯・アイロンかけが気になる 15. リサイクルやリフォームで再利用を考える 18. 夏服は快適性を考えて買う 23. 外出着は手入れのしやすさで選ぶ 28. アイロンかけなど衣服の手入れは自分でする
習慣	2. 家族の意見を参考にして衣服を購入する 5. 正装は和服だと思う 10. 目的や場所を考えて衣服の形を選ぶ 21. 衣服のしきたりを考慮する 26. 衣服の色は目的や場所を考えて選ぶ
嗜好	3. 自分の衣服は自分で選ぶ 7. 柄によって衣服を選ぶ 9. 野暮ったい服装のヒトが気になる 16. 気に入った衣服は高くても買う 20. 靴下まで服装の組み合わせを考える 22. 衣服は地の色で選ぶ 25. 気に入った服は動きにくくても着る
体型	11. 足の長さが気になる 14. 脊の太さが気になる 19. 背の高さが気になる 24. 腰の太さが気になる 29. 色を選ぶときは自分の体型を考える

述の清潔の意識の強さにつながるものと思われる。世代によって分類が異なった2絵画については、20代では黄を、40-50代では赤に注目したと思われ、また20代の女性は黄が存在しない場合には茶を黄として認識する傾向が見られた。

表4 各絵画における感性評価得点の平均値

項目 作品名	1 20代 40-50代		2 20代 40-50代		3 20代 40-50代		4 20代 40-50代		5 20代 40-50代	
	20代	40-50代	20代	40-50代	20代	40-50代	20代	40-50代	20代	40-50代
アヴィニヨンの娘たち	3.57	3.88	4.43	4.25	6.14 ** 4.38	5.71	4.88	4.43	3.88	
ある1日の躰	2.57	3.25	1.57 * 2.88	2.43	3.13	3.00	3.75	5.00	4.25	
ヴァイオリンとパレット	2.57	2.88	3.43	3.00	4.29	3.75	4.00	3.50	4.57	4.50
春日苑	2.71	3.38	3.86	3.38	5.00	4.25	4.43	4.00	4.00	4.00
ギターを持つ女	2.00	3.50	1.43 ** 3.75	2.00 * 3.50	2.00	3.00	2.00	3.00	6.00 *	4.38
形態のダイナミズム	4.14	4.38	5.57	4.88	6.29 * 4.75	5.86	4.63	3.29	4.13	
不明(ケンドー)	5.00	4.25	6.86 ** 5.25	6.86 ** 5.50	6.14	5.88	2.14	3.63		
樹齢	2.43	2.88	2.29	2.88	2.29	3.38	4.00	3.63	4.00	4.13
初夏	4.00	3.75	4.57	4.00	4.00	4.50	4.86	4.88	4.57	3.88
晩秋	2.43	2.88	3.57	3.50	5.29	4.25	5.00	4.25	2.86	3.13
祭の朝	3.57	3.38	4.29	3.75	3.00	3.63	4.86	4.75	4.57	3.88
窓	2.71	3.88	3.14	3.75	3.14	4.00	3.29	4.00	4.14	4.38
楽園	4.00	3.88	4.71	5.00	5.57	5.38	5.86	6.13	3.29	2.50
項目 作品名	6 20代 40-50代		7 20代 40-50代		8 20代 40-50代		9 20代 40-50代		10 20代 40-50代	
	20代	40-50代	20代	40-50代	20代	40-50代	20代	40-50代	20代	40-50代
アヴィニヨンの娘たち	4.14	4.88	2.57	3.38	2.43	2.75	2.88	3.00	4.00	3.63
ある1日の躰	2.43 ** 3.88	4.43	5.25	2.00 ** 4.00	2.86	4.38	2.86	3.88		
ヴァイオリンとパレット	3.86	4.63	5.43	4.88	2.57	3.50	3.57	3.13	4.57	3.50
春日苑	3.43	3.13	3.42	2.63	2.86 * 4.63	3.14	4.38	5.14	5.13	
ギターを持つ女	2.71	3.00	5.00	4.50	2.14	2.50	5.29	4.25	5.86 *	4.50
形態のダイナミズム	5.43	4.75	2.14	3.25	2.43	3.13	2.29	2.88	2.14	2.63
不明(ケンドー)	6.43	5.88	2.43	2.13	2.14	2.50	2.86	2.13	2.86	3.25
樹齢	4.14	4.13	4.14	4.75	2.43 * 3.88	3.00	4.00	4.29	3.50	
初夏	3.71	4.25	3.00	3.63	4.29	3.38	4.71 * 3.38	6.14 ** 3.63		
晩秋	4.14	4.13	3.29	3.38	5.00 * 3.38	4.57	3.13	5.14 *	3.25	
祭の朝	4.57	4.38	2.71	3.38	2.43	2.88	1.71	2.75	2.00	3.00
窓	3.14	3.38	3.86	4.00	3.71	3.25	2.71	3.00	2.57	3.38
楽園	6.00	6.00	3.71	2.75	3.57	2.13	4.00 *	2.38	4.57 *	2.63
項目 作品名	11 20代 40-50代		12 20代 40-50代		13 20代 40-50代		14 20代 40-50代		15 20代 40-50代	
	20代	40-50代	20代	40-50代	20代	40-50代	20代	40-50代	20代	40-50代
アヴィニヨンの娘たち	3.57	3.50	3.43	3.88	4.43	4.00	3.43	3.63	3.29	3.63
ある1日の躰	5.00	4.63	4.14	5.13	2.86	3.63	4.43	4.13	3.00	3.63
ヴァイオリンとパレット	5.29	4.13	4.43	4.88	2.86	3.75	3.86	4.00	3.29	3.63
春日苑	3.71	4.13	4.14	4.13	4.71	4.00	3.29	3.50	3.29	3.38
ギターを持つ女	6.43 *	5.25	3.57	4.75	5.71	4.38	3.57	3.38	3.57	3.38
形態のダイナミズム	1.86	2.25	2.29	2.75	3.57	3.50	4.00	4.13	3.14	3.63
不明(ケンドー)	1.29	2.13	2.43	2.88	5.71	4.88	4.86	4.63	4.14	3.38
樹齢	4.14	3.88	5.71	5.13	3.29	4.00	3.00	3.38	2.71	3.75
初夏	3.29	3.38	2.43	3.38	3.29	3.63	4.29	4.00	4.29	3.88
晩秋	3.29	3.25	3.14	3.13	4.00	3.50	3.43	4.75	3.14	4.00
祭の朝	3.57	3.50	4.43	3.88	3.00	3.63	3.43	3.50	2.57	3.38
窓	4.86	4.50	4.43	4.88	4.86	3.63	3.57	3.50	2.86	3.50
楽園	2.57	2.13	2.14	2.00	4.29	3.50	5.57	4.50	4.29	3.50

色彩感性と衣服選択の関連

(表4のつづき)

項目 作品名	16		17		18		19		20	
	20代	40-50代								
アヴィニヨンの娘たち	3.00	3.88	4.29	4.50	2.57	3.38	2.14	2.75	4.43	4.00
ある日の誕	4.43	4.13	3.86	4.50	3.00 *	4.50	4.14	4.00	4.00	4.25
ヴァイオリンとバレット	5.29 *	4.13	4.71	4.50	3.00	3.25	3.43	3.63	4.00	4.50
春日苑	3.43	3.38	3.14	2.88	3.29	3.00	3.14	3.25	4.71	4.13
ギターを持つ女	4.43	4.38	4.43	4.25	3.43	3.38	4.86	4.25	2.86	3.38
形態のダイナミズム	2.71	3.25	3.86	4.00	3.14	3.50	2.29	3.63	5.57	4.75
不明(ケンドーン)	3.86	3.38	5.14	4.00	4.14	4.00	2.29	2.88	6.00 **	4.25
樹齢	4.29	4.38	3.14	3.88	2.57	3.63	3.57	3.50	3.57	3.25
初夏	5.29 **	4.13	5.14 *	4.13	4.14	3.75	3.71	4.25	5.71 **	3.88
晩秋	4.29	3.75	4.57	4.25	3.00	3.75	2.29	3.63	3.71	3.88
祭の朝	3.00	3.75	2.86	3.50	2.57	3.25	2.29	3.50	5.43	4.38
窓	3.14	4.25	3.29	3.75	2.43	3.25	2.57	2.75	4.29	3.38
楽園	4.57	3.63	5.57	4.50	4.00	3.50	2.57	3.63	5.29	4.25
項目 作品名	21		22		23		24		25	
	20代	40-50代								
アヴィニヨンの娘たち	4.71	4.25	3.43	4.50	3.57 *	4.88	3.57	4.13	3.57	3.88
ある日の誕	4.86	4.00	3.57	3.88	4.57	4.25	5.43	5.00	4.57	4.75
ヴァイオリンとバレット	5.14	4.88	2.57	3.63	4.86	4.50	5.43	5.13	3.86	4.13
春日苑	2.86	3.63	3.86	3.38	3.29	3.25	3.57	3.00	3.29	3.00
ギターを持つ女	4.14	4.25	3.43	3.50	2.86	3.50	5.29 *	4.38	4.86	4.38
形態のダイナミズム	4.43	4.38	4.71	3.88	5.00	4.50	2.86	4.00	3.57	4.00
不明(ケンドーン)	4.43	4.25	4.57	4.63	5.57	4.88	2.57	2.88	3.71	3.75
樹齢	4.86	4.50	3.57	3.50	4.43	4.13	5.00	5.25	4.00	4.13
初夏	5.29 *	4.00	3.57	4.25	4.14	3.88	3.86	3.88	3.86	3.88
晩秋	4.57	4.25	3.86	4.13	4.71	4.63	4.71	4.25	4.00	4.63
祭の朝	4.14	4.38	4.86	4.38	5.14	3.75	3.71	3.63	3.14	3.38
窓	4.43	4.50	5.14 *	4.00	3.14	3.63	3.43	4.00	2.71	3.38
楽園	4.71	4.25	2.43	3.75	4.57	5.25	5.14	3.88	3.71	3.75
項目 作品名	26		27		28		29		30	
	20代	40-50代								
アヴィニヨンの娘たち	1.86 *	2.75	3.71	3.88	2.57	2.88	3.00	3.88	1.43 *	3.25
ある日の誕	3.43	4.00	2.43	3.63	5.71	4.38	2.86	3.88	4.86	4.63
ヴァイオリンとバレット	2.86	3.13	3.57	4.25	5.86 **	4.13	3.43	3.63	5.71 *	4.13
春日苑	2.86	3.50	4.14	3.50	3.00	3.00	3.43	3.50	3.57	3.00
ギターを持つ女	4.71	4.50	2.00 **	4.25	5.57	5.00	2.86	4.13	5.43	4.25
形態のダイナミズム	2.43	3.38	5.43	4.88	2.00	3.38	4.14	4.00	3.71	3.75
不明(ケンドーン)	2.71	2.00	6.57 *	5.75	2.57	2.88	5.29	4.63	3.14	3.50
樹齢	3.43	3.50	2.86	3.63	5.86	4.25	2.86	3.50	3.86	4.38
初夏	3.43	3.13	3.14	3.63	4.43	3.63	4.86	3.75	2.86	3.88
晩秋	2.29 *	4.25	3.57	4.00	4.29	4.13	2.86 **	4.25	4.71	4.25
祭の朝	1.86 *	3.00	3.00	4.13	5.00	3.75	3.14	3.75	3.57	3.88
窓	2.71	3.00	3.14	4.13	5.00	3.88	2.29 **	3.63	3.29	4.50
楽園	2.71	2.13	5.00	4.50	3.86	3.00	4.71 *	3.25	4.14	4.38
項目 作品名	31		32		33					
	20代	40-50代								
アヴィニヨンの娘たち	3.57 *	4.50	3.57	4.00	3.43	3.50				
ある日の誕	3.14	4.00	2.86	3.75	5.29	4.63				
ヴァイオリンとバレット	4.29	3.88	3.29	3.13	5.29	4.50				
春日苑	3.29	3.00	4.00	3.13	4.14 *	2.63				
ギターを持つ女	3.43	4.13	3.14	3.50	5.86 *	5.00				
形態のダイナミズム	4.29	4.50	4.43	4.50	1.57	3.00				
不明(ケンドーン)	4.57	4.13	5.14	4.13	1.43	1.75				
樹齢	2.57 *	4.25	2.86	3.50	5.00	4.50				
初夏	4.14	4.38	4.57	4.50	3.14	4.00				
晩秋	3.86	4.00	2.71	3.38	3.57	3.50				
祭の朝	2.71 *	4.25	4.29	4.13	2.14 **	3.88				
窓	2.71	3.88	3.29	3.50	4.71	3.75				
楽園	4.14	4.13	4.71	4.13	4.00	3.25				

*: p<0.05

**: p<0.01

表5 絵画の印象色

作品名	印象色
アヴィニヨンの娘たち	茶・青・緑・白・赤
ある1日の謎	緑・黒・茶・白
ヴァイオリンとパレット	茶・緑・白
春日苑	緑・黄・白
ギターを持つ女	緑・黒・黄・茶
形態のダイナミズム	黒・赤・緑・黄
不明	赤・黄
樹蒼	白・青
初夏	黄・黒・緑・赤
晩秋	黄・赤・白
祭りの朝	青・赤・黄・白・緑
窓	青・白・茶
楽園	赤・黄・緑

表6 絵画についての因子分析結果

20代の因子負荷(バリマックス回転後)

絵画	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子
形態のダイナミズム	0.918	-0.238	0.116	0.017	0.263
不明(ケンドーン)	0.906	-0.296	-0.051	0.163	0.153
楽園	0.594	0.128	-0.253	0.547	0.160
ヴァイオリンとパレット	-0.083	0.885	0.078	0.209	0.075
ある1日の謎	-0.028	0.805	0.382	-0.114	-0.100
樹蒼	-0.254	0.753	0.416	0.135	-0.129
ギターを持つ女	-0.716	0.592	0.021	-0.080	0.038
窓	-0.174	0.306	0.713	-0.156	0.108
祭りの朝	0.430	0.213	0.641	0.000	0.034
初夏	0.003	-0.064	-0.001	0.557	0.131
晩秋	0.111	0.210	-0.075	0.550	0.083
春日苑	0.096	-0.011	0.004	0.145	0.738
アヴィニヨンの娘たち	0.389	-0.038	0.189	0.363	0.587

40-50代の因子負荷(バリマックス回転後)

絵画	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子
形態のダイナミズム	0.904	-0.134	-0.012	-0.158
不明(ケンドーン)	0.900	-0.316	0.003	-0.017
楽園	0.847	-0.003	-0.045	-0.257
アヴィニヨンの娘たち	0.756	0.061	0.097	-0.045
祭りの朝	0.662	0.143	0.410	-0.188
初夏	0.567	0.023	0.161	-0.483
晩秋	0.539	0.162	-0.043	-0.004
ヴァイオリンとパレット	0.419	0.817	0.349	-0.201
ある1日の謎	-0.433	0.785	0.004	-0.249
樹蒼	-0.137	0.759	0.230	-0.016
窓	0.173	0.224	0.808	-0.151
ギターを持つ女	-0.469	0.184	0.564	-0.111
春日苑	-0.190	-0.255	-0.135	0.859

表7 絵画の年代別分類

クラスター分析結果(20代)

第1クラスター	第2クラスター
形態のダイナミズム 不明 (ケンドーン)	ヴァイオリンとパレット ある1日の謎
樂園	樹蒼
初夏	ギターを持つ女
晚秋	窓
春日苑	祭りの朝
アヴィニヨンの娘たち	

クラスター分析結果(40-50代)

第1クラスター	第2クラスター
形態のダイナミズム 不明 (ケンドーン)	ヴァイオリンとパレット ある1日の謎
樂園	樹蒼
アヴィニヨンの娘たち	窓
祭りの朝	ギターを持つ女
初夏	春日苑
晚秋	

3-2 嗜好色・着衣の色彩調査

女子学生を対象とした「好みの色・着衣の色彩」の調査結果を図1に示す。好みの色の上位3色は順に赤系、無彩色、青系であった。順位と無彩色は千々岩等の色彩調査の結果⁷⁾と対応しなかったが、これは千々岩等の調査地域表示が西日本と広範囲に及んでいることから、調査範囲の差によるものと思われる。着衣の色彩は無彩色に次いで茶系、青系、赤系の出現が多く、千々岩等のセーター色の結果⁸⁾と比べて茶系、青系が赤系を凌いでいることが特徴的であるが、これは前述のごとく、20代の女性が「上品な」、「しゃれた」、「センスのある」、「清潔な」等のイメージを茶や青で表そうとしているものと考えられる。一般に衣服の選択・決定に個人の好みの色は反映されないとされており、本調査でも好みの色がそのまま着衣の色には反映されていなかった。20代女性の着衣の色彩を前項の色彩感性の結果と比較すると、無彩色と青に注目する点について、また赤の着用率が低い傾向にあることは共通しており、これはすなわち、20代の女性は彼女たちがイメージしている清潔さを表現するために青や無彩色を利用している現れと考えられる。

3-3 衣服選択における意識調査

被服選択の意識調査は「はい」から「いいえ」までを1点-5点として世代別に集計した。各の平均値を表8に示す。

両世代ともに流行に関心はあるようだが20代の女性の場合により強い関心がうかがえた。また流行に関するすべての項目で世代間の差が認められるが、両世代とも被服の選択に当たっては「飽きが来なくて長く着られる服を選ぶ」としており、特に40-50代の女性では流行は気になるもののファッションの新しさにはあまりこだわらない様子がうかがえた。一方20代の女性はファッション雑誌を参考にし

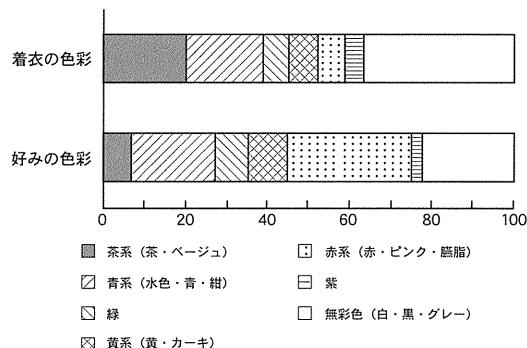


図1 20代女性の色彩調査結果

て、流行の服を早く着用したいと思っているようだが平均点は中間値に近く、流行に対する革新者・初期採用者ではなく、前期追随者くらいの意識であると思われる。

素材・管理に関する項目は40-50代女性の場合に低い平均値を示した項目が多いが、両世代とも衣服の衛生的な性能を重視していることがうかがえる。これは調査を行ったのが日本の南部に当たる地域であるため、夏の暑さ対策と寒さには弱いという地域の特徴を顕著に現したものと思われる。またほとんどの項目について世代間の差が認められ、衣服の手入れや管理は40-50代の女性は自分で行っているが、20代の女性では「洗濯・アイロンかけが気になる」は40-50代女性より低い平均値を示し、また「アイロンかけなど衣服の手入れは自分でする」で高い平均値であったことから、親に頼っていることや手間をかけずに楽に着用したいという姿勢があるものと思われる。また、両世代とも被服のリフォームはあまり考えていないようであった。

慣習に関する項目では両世代ともT.P.Oやしきたりを考慮していることがうかがえ、衣服の選択にはヒトの意見にあまり左右されない傾向が見られた。また和服に対する意識は世代によって異なり、20代の女性の衣生活は洋服のみであることがうかがえた。

嗜好に関する項では9、25以外は両世代とも平均値はすべて中間値より小さく、特に40-50代の女性は色・柄等自分の好みを重視して衣服の選択を行っているようであり、20代の女性は色・柄等の好みとともに服装としての組み合わせも考えて衣服を選択しているようである。また、選択には好みより着やすさを重視しているようである。

体型に関する項目は両世代とも平均値はすべての項目で中間値を下回ったことから世代に関係なく体形を気にしていることがうかがわれ、中でも長さ・高さより胴や腰の太さが気になるようであった。「色を選ぶときは自分の体型を考える」では両世代とも比較的低い平均値を示したことより、太さを強調しない色を選ぼうとしていることが推察される。衣服のデザイン要素に該当する項目(7, 10, 22, 26, 29)では平均値は両世代ともに中間値以下を示し、衣服の選択には視覚要素の影響が大きいことが示された。色柄についての意識は40-50代の女性の方が20代の女性よりやや強いようであるが、体型との関係で色をとらえる意識は20代の女性のほうが強く、カラーイメージを着装表現として利用する能力は若年世代で高い

表8 各質問項目に対する
世代別平均値

項目番号	20代		40-50代
1	2.33	*	2.64
2	3.25		3.50
3	1.83	*	1.39
4	1.83		2.01
5	4.33	*	3.14
6	2.83	*	3.53
7	2.08	*	1.74
8	1.92	*	1.01
9	2.92		3.11
10	1.34		1.87
11	2.25	*	2.87
12	2.08	*	3.34
13	1.67	*	2.07
14	1.67		1.87
15	3.92	*	3.50
16	2.92		2.64
17	3.08	*	3.61
18	1.92	*	1.49
19	2.25	*	2.77
20	2.00	*	2.39
21	2.33		2.00
22	2.33	*	1.70
23	3.58	*	2.30
24	2.17		2.10
25	3.25		3.14
26	1.83	*	1.63
27	2.50	*	3.04
28	2.08	*	1.60
29	1.83	*	2.34
30	2.75	*	3.14

* : p<0.05

ことが推測できる。これはすなわち前述のように20代の女性は着衣の色に潜在的イメージを表す色を用いる傾向があり、その色（無彩色、青）がゆるんだ感じを与えない色⁹⁾であることから体型として太さを気にしている彼女達が、理想的自己概念を実現¹⁰⁾する手段の一つとして色を考えていると思われる。

t検定で差が認められた項目について行った因子分析の結果を表9に示す。因子分析結果は20代の女性では第5因子まで累積寄与率は72.53%を、40-50代の女性では第5因子までで79.91%を示した。表は20代の女性の場合の結果に、40-50代の女性の結果を対応させて示した。対応している因子群の関係から40-50代の女性は流行という認識を比較的狭い範囲でとらえているようであるのに対して、20代の女性は世間一般の流行だけにとらわれず、自分の好みも組み合わせる素質を持っていることがうかがわれる反面、慣習や素材・管理のうえで重宝と思われる衣服に、流行や好みを取り入れることは不得手である様子がうかがわれる。一方、40-50代の女性は流行以外の感覚は柔軟なようで、自分の好みを重視しつつ着心地を忘れることなく衣服を選択し、慣習として用いる衣服にもさりげなく好みを取り入れているようである。

以上のように衣服の選択においては若年世代で流行意識が強く、高世代では柔軟な選択行動をしているようであるが両世代とも衣服の選択においては体型との関わりを意識せずには

表9 衣服選択要因の因子分析結果（バリマックス回転後）

質問項目	20代					40-50代				
	因子1	因子2	因子3	4因子	5因子	因子1	因子2	因子3	4因子	5因子
17.ヒトと違うファッショントをしたい	0.891	0.094	0.060	-0.251	-0.139	0.298	0.412	0.259	0.196	-0.677
30.ファッション雑誌を良く参考にする	0.858	0.021	0.063	0.030	0.422	0.833	-0.043	0.708	0.489	-0.101
3.自分の衣服は自分で選ぶ	0.812	0.121	0.251	-0.208	0.221	0.157	-0.075	0.553	0.009	0.248
1.流行が気になる	0.739	0.037	-0.015	0.109	-0.315	0.318	0.196	-0.285	0.752	-0.018
6.新しいファッションは早く着てみたい	0.675	-0.142	0.402	0.283	0.126	0.888	-0.003	0.231	0.030	0.132
20.靴下まで服装の組み合わせを考える	0.512	0.625	0.174	-0.165	0.296	0.213	0.846	0.435	-0.167	-0.022
18.夏服は快適性を考えて買う	-0.260	0.834	0.214	-0.133	-0.130	-0.336	0.173	0.649	-0.006	-0.345
13.飽きの来ない長く着られる服を選ぶ	0.056	0.638	0.697	0.016	0.016	-0.751	-0.152	0.237	0.142	-0.535
22.衣服は地の色で選ぶ	0.144	0.632	0.561	-0.108	0.079	-0.204	0.353	0.790	0.195	0.122
28.アイロンかけなど衣服の手入れは自分でする	0.058	0.072	0.797	-0.238	-0.009	-0.633	0.358	0.354	0.306	-0.440
12.洗濯・アイロンかけが気になる	0.280	0.100	0.652	0.183	-0.053	-0.472	0.106	0.113	-0.731	-0.354
29.色を選ぶときは自分の体型を考える	0.115	0.377	0.620	-0.548	0.057	-0.840	-0.233	0.082	0.132	0.116
23.外出着は手入れのしやすさで選ぶ	0.127	-0.082	-0.225	0.873	-0.052	0.130	0.958	0.119	0.025	-0.097
15.リサイクルやリフォームを考える	-0.091	0.143	0.137	0.021	0.751	0.113	-0.097	0.038	0.835	0.151
5.正装は和服だと思う	0.166	-0.227	-0.241	-0.168	0.601	0.431	0.325	0.740	-0.018	0.025
7.柄によって服を選ぶ	-0.485	0.415	-0.060	-0.574	-0.204	0.044	0.156	0.7519	0.383	-0.323
19.背の高さが気になる	-0.304	-0.569	0.348	-0.075	-0.359	0.033	0.123	0.217	0.247	0.7483
26.衣服の色は目的や場所を考えて選ぶ	0.015	0.041	0.163	-0.285	-0.023	-0.102	0.9104	0.054	-0.142	0.087
27.流行の色やデザインの服を着たいと思う	0.428	0.458	0.064	0.196	-0.166	0.9584	0.102	-0.018	0.112	0.104

いられないことが明らかであった。そして衣服と体型との関係には色のイメージが大きく影響していることも明白であった。このように本研究では20代の女性の着衣の色は色彩に対する潜在意識を表しているという結果が得られたが、共通した感覚を持つ色やデザインであれば、世代が異なっても同じ衣服を選択する可能性があることを示すものと考えられる。また色彩調査で20代、40-50代ともに茶色に対して「上品な」や「しゃれた」イメージを感じていることから、茶系の衣服は世代に関係なく用いられる色であると考えられる。さらに色が

選択できる場合には同一デザインの衣服の着用はより多くなることが推測できる。そして昨今の現象とされている「異世代における着衣の類似性」は、この可能性が具現化された状態であると思われる。

4. 結論

本研究は多様に変化した社会情勢と衣生活行動における基本的要因を探ることを目的として行った。衣服の選択・着装行動は視覚判断の影響によって始まることから、色彩感性、着衣の色彩、衣服の選択要因について調査・解析し、次のような結果が得られた。

1. 色彩感性の調査より、20代の女性はさわやかな緊張感を求めた意識が強く、それを白や青から感じており、一方40-50代の女性は空想意識が強く、都会的・洋風的なイメージを赤から感じていると思われた。また茶には異世代でも共通したイメージを持つことが認められた。
2. 20代女性の着衣の色彩調査から、着衣の色彩には感性や理想的な自己実現の意識が反映されやすいと判断された。
3. 衣服の選択における色彩の影響は体型等との関わりが大きく、世代間において感覚的な差異がない場合には、色彩は異世代間における衣服の類似現象の要因になり得ることが明らかであった。

文献

- 1) 中川早苗、武井敦子；サラリーマンの服装に対する意識と行動、織消誌、25, 45-53 (1984), 岡田宣子；各年齢男女の衣生活行動、家政誌、52, 605-616 (2001) 等
- 2) 橋本令子、加藤雪枝、楳山藤子；女性の服装に対する意識と行動の検討、織消誌、27, 263-270 (1986), 井手幸恵、磯井佳子、風間健；ブランドが衣服の購買行動に与える効果、織消誌、37, 607-613 (1996) 等
- 3) 藤原康晴、川端澄子、近藤信子；女性の服装を評価する用語の分類、家政誌、41, 241-248 (1990), 藤原康晴、杉田洋子、福井典代；服装規範意識測定における個人差と個人内でのあいまいさの検討、家政誌、50, 371-375 (1999), 藤原康晴、宇野保子、中川敦子、福井典代；服装に対する評定の個人による再現性の違いとその評定値への影響、家政誌、50, 1071-1077 (1999) 等
- 4) 神山進、牛田聰子、耕田庸；服装に関する暗黙裡のパーソナリティ理論、織消誌、29, 286-294 (1988), 渡辺澄子、川本栄子、中川早苗；服装におけるイメージとデザインとの関連について、家政誌、42, 459-466 (1991) 等
- 5) 小林茂雄、山岸裕美子、見寺貞子、片本恵利、木村大生、西尾新；特集-高齢者のためのファションセラピーへのアプローチ；織維工学、53, 229-258 (2000)
- 6) 秋山和雄；高齢化社会に向けてのブランド開発、ファッショントピックセミナー要旨集、43-49 (2001)
- 7) 千々岩英彰；世界の色彩感情辞典、河出書房新社、東京、p. 128 (1999)
- 8) 前掲 p. 131
- 9) 近江源太郎；色彩感覚、日本色研、東京、p. 32 (1999)
- 10) 日本家政学会編；表現としての被服、朝倉書店、東京、p. 113 (1989)